

令和2年度 社会福祉法人 瀬戸福祉会 事業報告

《法人の活動状況》

障害者総合支援法に基づき、障害者支援施設瀬戸療護園を主体とし、障害福祉サービス事業（短期入所、相談支援事業、就労支援事業、生活困窮者相談事業等）の運営を実施した。今年度は、コロナ禍の中にあり、「3密」「ソーシャルディスタンス」「不要不急」等々の言葉が、我々の日々生活の中に常に存在し、社会活動をも制限されてきた。そんな中、経営の安定化、利用者支援、人材確保など、多くの課題を乗り越えながら、邁進してきた1年であった。施設内での活動では各々縮小されてはいるものの、満足を与えるような利用者支援を継続し、施設利用率の確保にも努めた。また地域活動については、外出等の自粛により、思うような園外活動ができず、地域連携も少し距離を置く形となった。次年度においては、一刻も早くコロナ終息に繋がり、感染前のような活動が取り戻せるよう期待します。

1. 基本理念及び行動方針

- ◆基本理念 明珠在掌（みょうじゅたなごころにあり）  
誰でも幸せは自分の手の中にあるという意味。
- ◆行動方針 安全・確実・公平なサービスの提供、思いやりの精神  
法人全体で協力・連携してサービスの向上に努める。

2. 理事会及び評議員の開催状況

(理事会)

開催日	場 所	内 容	理 事	監 事
6/9	(決議の省略)	R1 事業報告・決算報告・監査報告、施設設備整備積立金計上、役員改選に伴う理事監事の候補者選定、定時評議員会の招集、報告事項（理事長専決事項、利用者状況、資産運用状況）	全員の同意書	全員の確認書
11/17	瀬戸療護園交流ホーム2F	R2 上半期収支状況報告案、規程の変更案、福祉機器買替案、備品購入積立金取崩案、任期満了に伴う評議員選任解任委員の改選案、役員の補充案、評議員選任解任委員会招集案、評議員会の招集案、報告事項（理事長専決事項、利用者状況、法人土地処分状況、資産運用状況）	5名	2名

開催日	場 所	内 容	理 事	監 事
3/19	(決議の省略)	R2 補正予算案、R3 事業計画案・予算案、 規程の変更案、評議員会招集案、報告事項 (理事長専決事項、利用者状況、資産 運用状況、障害福祉サービス事業者指定 申請更新)	全員の 同意書	全員の 確認書

(評議員会)

開催日	場 所	内 容	評議員	監 事
6/19	(決議の省略)	R1 事業報告、計算関係書類及び財産目録 の承認	全員の 同意書	
12/3	瀬戸療護園交 流ホーム 2F	R2 上半期収支状況報告案、理事欠員に伴 う補欠理事の選任	4 名	2 名 (理事 2 名)
3/24	(決議の省略)	R2 補正予算案、R3 事業計画案・予算案、 報告事項 (利用者状況)	全員の 同意書	

### 3. 監事監査の実施状況

- (1) 実施日 令和 2 年 5 月 28 日 14 : 00 ~ 16 : 00
- (2) 場 所 瀬戸療護園 地域交流ホーム 会議室
- (3) 監 事 阿河良、岡野悦子
- (4) 立会い 横倉理事長、中山施設長、山本総務課長

### 4. 法人指導監査

- (1) 未実施

### 5. 事業展開

《法人の概要及び実施事業》

◇主たる事務所の所在地

〒762-0024 香川県坂出市府中町字南谷 5001 番地 3

◇事業種別

- (1) 第 1 種社会福祉事業
  - ① 障害者支援施設「瀬戸療護園」生活介護 70 名 (内、施設入所支援 50 名)
- (2) 第 2 種社会福祉事業
  - ② 障害福祉サービス事業「瀬戸療護園 短期入所」定員 2 名 (空床利用)
  - ③ 一般相談支援事業 (地域定着・地域移行)「障害者生活支援センター ピア」

- ④ 特定相談支援事業「障害者生活支援センター ピア」
- ⑤ 障害児相談支援事業「障害者生活支援センター ピア」
- ⑥ 障害福祉サービス事業「就労継続支援B型 府中オリーブ園」定員 20 名
- ⑦ 生活困窮者に対する相談支援事業

◇ 法人経営の安定化

各事業所の定員の満床（入所利用者 50 名・通所利用者 20 名、就労利用者 20 名）に向け、月 2 回の定例経営会議を実施し、経営基盤の強化に努めた。主体である入所・通所部門では、平均利用者数に変化はないものの、加算報酬の減収が大きく響いた。通所登録者では、入所へ移行する利用者も増え、平均利用者数の減数につながっているため、通所登録者数の増員が急務となっている。次年度に向けては、引き続き安定した利用者数、そのための活動状況の強化を日々検討し、増員に努める。

◇ 人材の確保と質の向上

定期的な職場研修や福祉機器の活用、業務の見直しなど図りながら、働きやすいような環境づくりを目指してきたものの、福祉人材の確保が難しい状況は変わらない。利用者の高齢化・重度化により、介護度も上がり、職員の増員も急務となっている。安定した福祉サービスが提供できるよう人材の確保と個々の能力を引き出し、職員の質も高め利用者支援に努めていく。